



学校だより

一人一人が主人公

令和8年2月18日
豊岡市立但東中学校
2月号

【学校教育目標：ふるさとの未来を創る 自分をつくる 但東の子】

保護者アンケートの結果

12月に実施しました保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。以下に結果を掲載しておりますのでご覧ください。○印は過去2年間の平均値より有意に値が高いものを、△印は逆に値の低いものを示しています（※±5%以内の増減は誤差範囲として処理しています）。

このアンケートの結果から、保護者の皆様がお子様への教育支援活動に対して大変意欲的であることがわかります。また学校の教育活動においては、全領域においてこれ以上ないくらい非常に好意的にとらえていただいていることがわかります。大変ありがたいことです。一方でお子様への評価は伸び悩んでいます。「家であいさつがよくできている」と「楽しく学校へ通っている」が70%後半で最も高いものの、80%を超える項目はありません。整理整頓の他、特に読書離れは深刻で、全項目の中で最も達成率が低い項目でありながら、本年度はさらに10%程度低下しています。

このアンケートの結果は学校評議員会とも共有し、今後もより良い学校づくりの資料として活用させていただきます。

		回答	77人中	69人	89.6%				
		1 あてはまる 2 概ねあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない ? わからない					R7年度	R6年度	R5年度
質 問		1	2	3	4	?	1・2の合計	1・2の合計	1・2の合計
お 子 様 に 関 し て	1 家であいさつがよくできている。	31.9	46.4	17.4	4.3	0.0	78.3	75.8	78.9
	2 自分の身の回りのことは整理整頓ができる。	24.6	30.4	36.2	8.7	0.0	△55.1	63.6	52.1
	3 生活のリズム(寝る時刻・起きる時刻)が保たれている。	29.0	39.1	27.5	2.9	1.4	68.1	71.2	67.6
	4 楽しく学校へ通っている。	40.6	36.2	11.6	5.8	4.3	76.8	78.8	80.3
	5 家庭学習を自主的に取り組んでいる。	26.1	33.3	31.9	8.7	0.0	59.4	60.6	62.0
	6 家庭で読書をよくしている。	4.3	14.5	40.6	37.7	2.9	△18.8	28.8	26.8
ご 自 身 に 関 し て	7 子どもと学校の様子などについて、話をすることを心がけている。	43.5	42.0	14.5	0.0		85.5	83.3	87.3
	8 子どものテレビやゲーム、インターネットや携帯電話の使用についてルールを決めている。	23.2	39.1	34.8	2.9		62.3	60.6	62.0
	9 子どもの友人関係を把握している。	29.0	55.1	15.9	0.0		84.1	87.9	88.7
	10 子どもに家族の一員としての役割を与えている。	33.3	47.8	17.4	1.4		81.2	75.8	73.2
	11 参観日や懇談会、PTA行事などには積極的に参加している。	50.7	47.8	0.0	1.4		98.6	89.4	91.5
学 校 に 関 し て	12 学校は生徒の個々の学力を高める努力をしている。	26.1	59.4	5.8	2.9	5.8	85.5	74.2	64.8
	13 学校は生徒の個々の努力や能力を適切に評価している。	24.6	60.9	5.8	0.0	8.7	85.5	77.3	70.4
	14 学校のふるさと教育の取組は評価できる。	26.1	59.4	5.8	1.4	7.2	85.5	74.2	73.2
	15 学校は教育活動の内容を保護者や地域に適切に発信している。	27.5	62.3	5.8	0.0	2.9	89.9	78.8	77.5
	16 学校は保護者や地域に対して適切な態度で対応している。	34.8	56.5	5.8	0.0	2.9	91.3	87.9	78.9

子どもの SNS の適切な使用について（お願い）

近年、子どもたちの SNS の利用のトラブルについて、ニュース等で報道されることが多くなってきました。子どもの SNS の利用の是非については、現在も賛否両論あるところですが、海外では子どもの SNS の一部利用を法律で制限する国も出てきました。SNS は私たちの日常生活になくてはならないツールですが、皆さんご存じのとおり、使用者には一定のスキルやモラルが求められます。保護者の皆様には、2月6日（金）付けで表題の文書を配布いたしましたとおり、本校の生徒においても例外ではありません。

生徒の SNS の利用の仕方については、日々の教科学習や総合的な学習の時間でも横断的に学習していますが、個人のスマートフォンやタブレットの校舎内への持ち込みを原則禁止しているため、その主たる利用場所・時間は各家庭となります。子どもの SNS の適切な使用について、特に子どもを加害者にも被害者にもさせないためにも、保護者の皆様の日頃からの適切な指導と継続的な見守りが欠かせません。これは何も SNS



に限ったことではありません。例えば海水浴場を利用する際は、行政が事故防止のために看板や監視員を配置して注意喚起をしてくれます。周囲の人も危険がないか互いに注意をしてくれます。しかしそれでも親は万が一に備え、常に子どもから目を離さないようにしなければなりません。もし仮に子どもが「安全には十分気を付けるから、子どもたちだけで海水浴に行きたい」と言ったとしても、頑として許可をしないのも親の務めです。子どもが SNS を利用する際もこれと同じだと私は思うのです。大切なお子様のためにも、今一度ご家庭で SNS の利用についてご協議いただきますようお願いいたします。

「ふてほど（不適切にもほどがある）」

以前、「不適切にもほどがある」というドラマがテレビ放映され、「ふてほど」という言葉が流行語大賞となりました。昭和と令和の社会規範・倫理感の違いをコミカルに描いた人気作品です。しかし、私たち昭和生まれの親以上の世代にとっては、少し身につまされるものがあります。私たち昭和世代が培ってきた貴重な経験則が、ブラックユーモアとして笑いになってしまうほど今の時代にそぐわないからです。

私はよく昭和世代の事を「古い家電」と呼んでいます。単純・頑丈で馬力はあるけれど、効率が悪くて音がうるさいからです。だからと言って開き直ってはいけません。古い家電も古いなりにアップデートすれば役に立つのです。私たちも子どもたちに負けないよう、日々アップデートを心掛けたいものです。ただしアップデートには時間と根気が必要です。

【お知らせ】

但東中学校の学校だよりや行事予定は、但東中学校のホームページに掲載されています。毎月更新しておりますので、ぜひ右の QR コードからご覧になってください。

＜ホームページはこちら＞

